

セブン&アイグループを知る

企業プロフィール
数字で見るセブン&アイグループ

マーケット環境を知る

国内マクロ環境
国内小売業の動向
米国マクロ環境及び小売業の動向
グループ主要事業会社のマーケットシェア(単体)
世界の小売業/売上高ランキング
/時価総額ランキング

セブン&アイグループの業績と戦略を理解する

グループ重点戦略 ~「食」の強み~
連結財務KPI
キャピタル・リアロケーションプラン/株主還元
連結業績の推移
連結業績ハイライト
セグメント別業績の推移
財務状況
主要事業会社の概要
国内コンビニエンスストア事業
▶ 海外コンビニエンスストア事業
スーパーストア事業
百貨店・専門店事業
金融関連事業

株式情報を見る

株式情報

セブン&アイグループの歴史を見る

沿革

海外コンビニエンスストア事業



北米CVS事業の成長戦略（サマリー）

4つの成長戦略の遂行により、成長性・効率性の更なる向上を目指す

1 オリジナル商品の強化

- オリジナル商品(フレッシュフード、専用飲料、プライベートブランド商品)の開発と販売を強化し、売上シェアを2025年度までに34%に伸長
- 同時に、商品荒利率の向上とバリューチェーンの強化を継続



2 デジタル化とデリバリー事業の加速

- 7NOWデリバリーにおいて、高品質且つ即食性のある商品を迅速(全国平均28分)にお届けする価値を提案
- 成長をさらに加速させ、2025年度には売上10億ドルを目指す



3 SEIとSpeedwayの統合シナジーの創出

- 店舗レベル/全社レベルでSpeedwayとの統合を完遂
- 2023年度に約8億ドルのシナジーを実現



4 M&Aと新規出店による事業の拡大

- 細分化された米国市場において、M&Aと新規出店の両方を通じて、事業成長を継続

セブン&アイグループを知る

企業プロフィール
数字で見るセブン&アイグループ

マーケット環境を知る

国内マクロ環境
国内小売業の動向
米国マクロ環境及び小売業の動向
グループ主要事業会社のマーケットシェア(単体)
世界の小売業/売上高ランキング
/時価総額ランキング

セブン&アイグループの業績と戦略を理解する

グループ重点戦略 ~「食」の強み~
連結財務KPI
キャピタル・リアロケーションプラン/株主還元
連結業績の推移
連結業績ハイライト
セグメント別業績の推移
財務状況
主要事業会社の概要
国内コンビニエンスストア事業
▶ 海外コンビニエンスストア事業
スーパーストア事業
百貨店・専門店事業
金融関連事業

株式情報を見る

株式情報

セブン&アイグループの歴史を見る

沿革

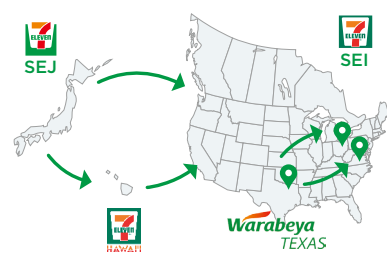
海外コンビニエンスストア事業

北米CVS事業の成長戦略

1 オリジナル商品の強化

バリューチェーン強化

フレッシュフード設備の近代化



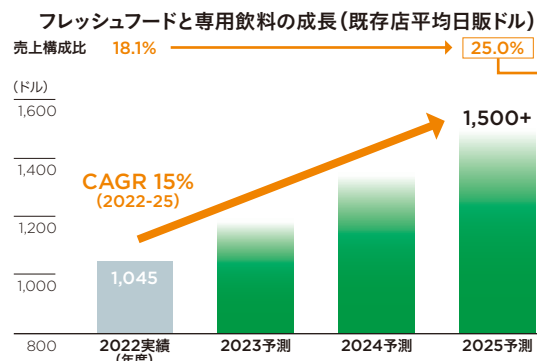
- 高度な商品開発知識
- 高度な製造ノウハウ
- 調理製造能力の向上

導入計画

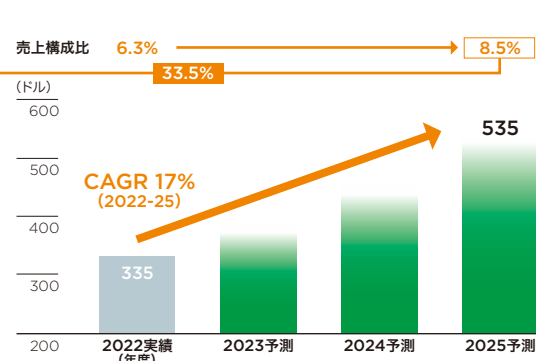
	店舗数	現状	2022年度				2023年度				2024年度				2025年度			
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
ヴァージニア工場	約1,200	建設中	→ ★ 2023 Q3 稼働開始															
オハイオ工場	約1,300	立地選定	→ ★ 2024 Q4															
テキサス工場拡大	約750	用地保留中	→ ★ 2024 Q2															
ロサンゼルス工場拡大	約1,200	NDFパートナー検討中	→ ★ 2025 Q3															

合計約4,600店舗 (全体の約35%)

フレッシュフードと専用飲料の貢献



PB商品の貢献



2025年度にかけて高荒利率の商品の売上割合を約34%まで上昇させる

2 デジタル化とデリバリー事業の加速

7NOWの価値提案

7-Elevenによるデリバリーでお客様のニーズに対応

サービスのスピード

店舗から2マイル以内で
アメリカの人口50%以上
をカバー

28分以下
全国平均配達時間
(年度累計)

マーケットプレイスパートナー

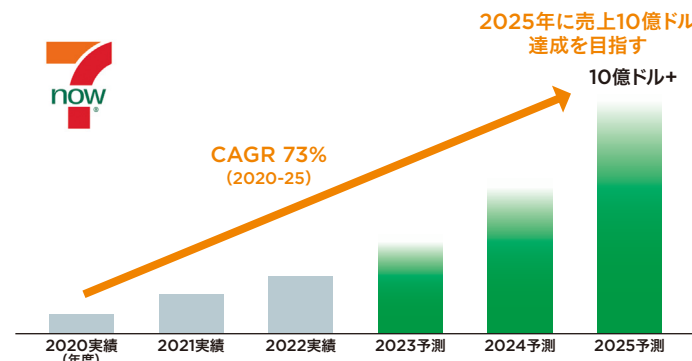
10以上

成長計画

- GOLD PASSサブスクリプションの強化
- Speedway店舗へデリバリーの導入
- ラストマイルサービスの強化



年間デリバリー売上



SEIのデリバリー事業は10億ドルの売上目標達成に向けて急速に拡大

セブン&アイグループを知る

企業プロフィール
数字で見るセブン&アイグループ

マーケット環境を知る

国内マクロ環境
国内小売業の動向
米国マクロ環境及び小売業の動向
グループ主要事業会社のマーケットシェア(単体)
世界の小売業/売上高ランキング
/時価総額ランキング

セブン&アイグループの業績と戦略を理解する

グループ重点戦略 ~「食」の強み~
連結財務KPI
キャピタル・リアロケーションプラン/株主還元
連結業績の推移
連結業績ハイライト
セグメント別業績の推移
財務状況
主要事業会社の概要
国内コンビニエンスストア事業
▶ 海外コンビニエンスストア事業
スーパーストア事業
百貨店・専門店事業
金融関連事業

株式情報を見る

株式情報

セブン&アイグループの歴史を見る

沿革

海外コンビニエンスストア事業

北米CVS事業の成長戦略

3 SEIとSpeedwayの統合シナジーの創出

想定シナジーの発現は順調に進捗しており、2023年度計画も大幅に上方修正



2022年度の取り組み実績

	商品関連	<ol style="list-style-type: none"> 飲料と常温商品の売場変更を実施し、品揃えを最適化
	スケールメリット活用 コストリーダーシップ	<ol style="list-style-type: none"> 全国レベルの契約を通じた規模のレバレッジ 組織の規模適正化完了 内製化店舗メンテナンスを7-Eleven 3,600店舗に拡大
	ガソリン物流統合	<ol style="list-style-type: none"> Speedwayのガソリン物流網を7-Eleven 390店舗に拡大
	デジタル戦略統合	<ol style="list-style-type: none"> Speedway 1,200店舗以上でデリバリーサービスを開始

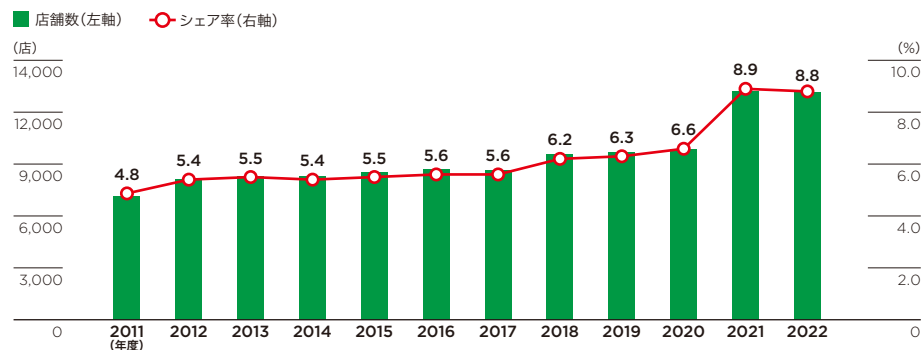
Speedwayとの統合シナジーの創出がSEIの利益成長を促進

4 M&Aと新規出店による事業の拡大

小規模チェーンがひしめく米国コンビニエンスストア業界

米国のコンビニエンスストア業界は、小規模事業者が非常に多いという特徴があります。2022年12月末現在、全米には約15万店のコンビニエンスストアがあり、10店舗以下のチェーンや個人経営店が全体の約65%を占めています。1位のSEI(13,167店)を含めた上位10位までの店舗数を合わせても、シェア約20%と非常に細分化された業界であるため、市場再編がますます加速しています。また、中国に次ぐ世界第2位の自動車市場でもあり、コンビニエンスストアの約8割がガソリンスタンド併設店となっているのも大きな特徴です。

SEI店舗数と米国コンビニエンスストアシェア率の推移



出所: 総店舗数 <https://www.convenience.org/Research/FactSheets/IndustryStoreCount>

人口密集地トップ50のうち47の市場でのプレゼンスを獲得

10店舗以下チェーン シェア約65%	ガソリンスタンド併設 約80%	上位10チェーン シェア約20%	細分化された業界
-----------------------	--------------------	---------------------	----------